

元・気・に・な・る・情・報・誌
よみっこ

月刊

Yomi

NARA + YAMASHIRO + IGA

12

Vol.276
DECEMBER 2024

グルメやショップ、
温泉クーポンで
得々!!

yomiっこ
クーポン付
42店



スマホでQRコードを
読み込んでね!
yomi WEB

Christmas Cake 2024

冬グルメ

2024
2025

23選



Contents

- 01.奈良もん さかもと養鶏 / 阪本 雅さん、未優さん
+言葉あそび575
- 02.クリスマスケーキ2024
- 04.冬グルメ 23選
- 08. 不要なモノはかしくリサイクル
- 10.2024円の旅
日本遺産 亀の瀬&龍田古道を歩く
- 12.メディカル最前線! 西の京病院【リウマチ科】
- 13.フリートーク&街ネタ、ちさとの星占い
- 14.BOZE数珠つなぎ 金峯山寺 / 五條 順哉 師
- 16.かわいいな+編集長のメッセージ
- 17.プレゼント+漢字パズル
- 18.クーポン
- 20.SHOP*SHOP
- 21.編集後記

不要なモノは

かしくリサイクル





おいしい卵で
みんなを笑顔に！
亡き父から受け継いだ
『白鳳卵』

「さかもと養鶏」
阪本 雅さん(左) 未優さん



五條市にある「さかもと養鶏」。阪本雅さん・未優さん姉妹が営む養鶏場で「おいしいたまごは、健康な鶏から」をモットーに自社ブランド「白鳳卵」の生産・販売を行う。同社は1964年に祖父が創業し父が後を継いでいた。姉妹はそれぞれ県外で働いていたが、父が病で倒れたことをきっかけに帰郷。2人で養鶏場を継いだ。父亡き後は、設備の更新など環境を整備し、現在は雅さんが経理・販売、未優さんが飼育管理を担当し、10人ほどのスタッフと1万4千羽の鶏と共に働いている。

白鳳卵は父が開発した赤卵で、臭みがなく、コクと甘みたっぷりの黄身が自慢。白身もおいしく、卵嫌いでも食べられると人気だ。鶏の健康状態を保つことがおいしい卵に繋がるという考えから、エサや水、空気を整え、体重も厳しく管理。徹底した健康管理の結果、奈良県鶏卵品評会で最優秀賞を受賞するなど高評価を得、ふるさと納税の返礼品にも選ばれている。

生卵だけでなくマヨネーズやプリンなど加工品開発にも力を入れ、その販路も直売所や道の駅、オンラインと拡大中。白鳳卵を使った料理が食べられる飲食店も増えている。



たまご夏まつりの様子

【奈良五條本店】
住・五條市中之町480-1
営・SHOP/10:00~16:00
CAFE/11:00~14:00
(13:30LO)
休・SHOP/火・木曜
CAFE/月~木曜 P・あり



【一ツ橋出張所】
住・五條市五條1-3-1
営・10:00~16:00
休・火曜
P・あり
(吉野川水辺の乗校駐車場)



五條新町に
無人コンビニも
出店中！

また直売所は年々規模を拡大し、2022年には自宅横に新設、昨年にはカフェも併設した。「父が遺した白鳳卵を多くの人に届けたい」という思いを胸に日々目まぐるしく事業を展開している。

昨年はカフェの開業に加えて、クラウドファンディングを活用して養鶏場の隣に遊び場を設けた。雅さん自身の妊娠・出産期に感じた思いや経験をもとに、お花畑や芝生スペース、ヤギのおうちなど、いろんな人が楽しめ、癒やしになり、笑顔があふれる空間を作った。

これらについて「奈良五條本店へ白鳳卵を楽しみに来てくれる人を増やしたい。また白鳳卵を全国へ届けたい」と雅さん。未優さんは「食育に繋がるような食体験も考えていきたい」と展望した。



言葉あそび

12月●師走

575

特選
秋が来て
また出てきた
食欲が
十両 [55p] 五條市 美雪さん

【選評】
「出てきた」に「クッス」と笑わせてもらいましたが、今年は短すぎる秋になりそうですが、おいしいものをたくさん食べて、たくさん笑って、エネルギーをしっかり充電しましょう。

【人選】
じゃんけんで
決めたらどうや
総理の座
横綱 [163p] 天理市 童男さん

最後まで
孫がわからず
運動会
関脇 [110p] 川西市 悦子さん

記憶力
マニアフェストにも
入れてくれ
三段目 [18p] 大和郡山市 香織さん

鍋の中
値上げばかりの
仲間たち
三段目 [17p] 橿原市 進さん

【佳作】
当てはまる
どれもこれも
どの病気
関脇 [148p] 奈良市 重雄さん

頭頂部
「光る君へ」と
便り来る
関脇 [112p] 斑鳩町 孝友さん

秋の虫
鳴いているのに
秋は来ず
小結 [89p] 吉野町 悦子さん

九十年
部品も換えず
生きている
十両 [58p] 奈良市 晃さん

箱入りの
息子が育ち
規格外
序二段 [7p] 生駒市 ちさとさん

【作品募集】
選者・倉橋みどり
俳人協会幹事 俳句結社「雲楽」主宰。読売新聞奈良版で「倉橋みどりの言葉あそび」を月に1回連載中。NTR文化センターなどで俳句講座講師も。

5・7・5という形であればOK。お一人様何句でも。掲載された方には記念品を差し上げます。応募の中から、特選1作、入選4作、佳作として5作の計10作を選出し、それぞれにポイントが加算されます。ポイントを貯めて番付を上げ、目指せ、ユーモア川柳界の「横綱」!

12/1日 言葉あそびイベント開催決定!
先着15名 参加費1,000円 申し込み・詳細はこちら



【応募先】 〒630-8253 奈良市内侍原町12-2 yomiっこ編集部「言葉あそび5・7・5」係 【必ずYC名を】 [FAX] 0742-27-7413 [Mail] info@ynl.co.jp 【応募〆切】 毎月20日

続きは電子書籍で見てね



Rakuten ブックス